



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年7月29日

上場会社名 株式会社スペースシャワーネットワーク 上場取引所 東  
 コード番号 4838 URL http://www.spaceshower.net/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 英明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 案納 俊昭 TEL 03-3585-3242  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	3,107	18.8	146	—	151	—	95	—
28年3月期第1四半期	2,615	5.2	△9	—	△7	—	△10	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 95百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 △10百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	8.46	—
28年3月期第1四半期	△0.94	—

(参考) 持分法投資損益 29年3月期第1四半期 1百万円 28年3月期第1四半期 △0百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	6,954	3,924	56.4
28年3月期	7,015	3,942	56.2

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 3,924百万円 28年3月期 3,942百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,168	12.5	292	63.7	300	62.4	199	70.5	17.56
通期	14,050	8.9	334	181.0	350	156.0	228	297.1	20.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細につきましては、添付資料3頁をご参照ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

29年3月期1Q	11,330,800株	28年3月期	11,330,800株
29年3月期1Q	ー株	28年3月期	ー株
29年3月期1Q	11,330,800株	28年3月期1Q	10,904,133株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境においてゆるやかな改善傾向が見られたものの、個人消費や設備投資については停滞感が強まっております。また、世界経済は、中国での景気減速感がより鮮明となったこと、欧州における英国のEU離脱問題などが世界経済に及ぼす影響が懸念され、世界経済の下振れリスクが残っていること、急激な円高進行など、依然として不安定な状況が続いております。

こうした環境の下、当社グループでは、放送業界、音楽業界、エンタテインメント業界における市場環境や消費者ニーズの変化に対応するため、創業以来行ってきた音楽映像コンテンツの企画制作及び有料多チャンネル放送プラットフォームにおける音楽専門チャンネルの運営をベースとしつつ、ライブイベント展開、デジタルコンテンツ制作や各種デジタルサービス展開、音楽レーベルからアーティストマネジメントに至る展開まで、当社グループが有するあらゆる機能を複合的に活用しながら、多様なメディア・コンテンツ事業を展開し、音楽総合エンタテインメント企業への転換を図ることを基本方針として参りました。前連結会計年度においては、新たにファンサイト事業を展開するコネクトプラス株式会社及びコンセプトカフェ運営を行うインフィニア株式会社の2社を連結子会社化し、これまでの株式会社セップ、株式会社Pヴァインとともに、新たな分野での成長施策の推進、事業領域の拡大に向けた企業グループ経営を推進しております。

当第1四半期連結累計期間においては、コネクトプラス株式会社、インフィニア株式会社の2社が連結子会社に加わったことや、「ゲスの極み乙女。」をはじめとした自社関連アーティストの権利収入やライブツアー収入など、前連結会計年度における取り組みの成果が大きく業績に貢献。加えて定額制聞き放題のサブスクリプションサービス市場の拡大や取り扱い楽曲のヒットによりデジタル音楽配信収入が増加し、売上高は大幅に拡大いたしました。

また、当社所属の新人アーティスト「Suchmos」が順調に成長し、各メディアにおいて注目を集めるようになるなど、当社のアーティストビジネスの持続的成長にむけた布石を打てたほか、株式会社AbemaTVの運営するインターネットテレビ局「AbemaTV」においては、当社が独自編成にて無料放送を行う音楽チャンネル『SPACESHOWER MUSIC CAST』を開設し、インターネットにおける音楽コンテンツのウィンドウの拡大にも努めるなど、コンテンツ及びメディアの両面から今後に向けた新たな取り組みも加速しております。

これら取り組みの結果、売上高は3,107,832千円と前年同期比492,790千円増（同18.8%増）となりました。また、営業利益は146,400千円と前年同期比155,633千円増、経常利益は151,252千円と前年同期比158,605千円増、親会社株主に帰属する四半期純利益は95,802千円と前年同期比105,998千円増となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

## ①メディア・コンテンツ セグメント

当セグメントにつきましては、音楽チャンネルの運営を中心に関連イベントやコンテンツプロデュースを展開するSPACE SHOWER TV事業、アーティストマネジメントからレーベル及びディストリビューションまでアーティストビジネスを360度展開するSPACE SHOWER MUSIC事業、音楽周辺のポップカルチャー領域を開拓するSPACE SHOWER ENTERTAINMENT事業並びにデジタルサービス分野の推進・開拓をめざすSPACE SHOWER DIGITAL事業の主に4つの事業ユニットを中心に、各事業分野の成長施策の推進にあっております。

SPACE SHOWER TV事業においては、有料放送収入におけるスカパー！サービスの「スペースシャワーTV」配分単価が前年同期比で上昇しました。

SPACE SHOWER MUSIC事業においては、「ゲスの極み乙女。」をはじめとした自社関連アーティストの原盤印税や、放送二次使用料等の著作権隣接権収入が前年同期を上回り、アーティストマネジメント関連並びにライツ関連が好調に推移しました。また人気を拡大させつつある「Suchmos」の旧譜（前年度発売済作品）の売上が伸長し、加えて、サブスクリプションサービスが牽引するデジタル音楽配信収入が前年同期比で増加しました。

SPACE SHOWER ENTERTAINMENT事業においては、前連結会計年度に連結子会社化したインフィニア株式会社の運営するコンセプトカフェ「@ほお〜むカフェ」の集客が堅調に推移した結果、売上高、経常利益ともに、前年同期を大きく上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は2,895,140千円と前年同期比591,054千円増（同25.7%増）、経常利益（セグメント利益）は、159,496千円と前年同期比165,857千円増となりました。

②映像制作 セグメント

当セグメントにつきましては、大型LIVE映像制作やプロモーションビデオ制作の受注が前年同期比で減少したことにより、売上高は212,691千円と前年同期比98,263千円減（同31.6%減）、経常利益（セグメント利益）は、7,182千円と前年同期比5,972千円減（同45.4%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、主に建設仮勘定が170,319千円、仕掛品が116,933千円、流動資産その他が92,108千円増加し、一方で現金及び預金が207,311千円、受取手形及び売掛金が174,860千円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ60,978千円減少し、6,954,265千円となりました。

負債につきましては、主に流動負債その他が52,230千円増加し、一方で買掛金が77,698千円、賞与引当金が65,897千円減少したことにより、前連結会計年度末に比べ43,293千円減少し、3,029,367千円となりました。また、純資産は主に利益剰余金が前連結会計年度末に比べ17,505千円減少したことにより、3,924,898千円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績につきましては、概ね予想通りに推移しており、平成28年4月28日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による損益に与える影響は、軽微であります。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,398,202	2,190,890
受取手形及び売掛金	1,741,150	1,566,290
商品及び製品	282,649	274,353
仕掛品	102,386	219,319
原材料及び貯蔵品	5,194	6,438
繰延税金資産	130,597	121,161
その他	220,178	312,286
貸倒引当金	△54,246	△56,614
流動資産合計	4,826,113	4,634,127
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	719,832	720,817
機械装置及び運搬具	18,323	18,323
工具、器具及び備品	424,519	429,594
土地	72,455	72,455
リース資産	449,755	449,755
建設仮勘定	13,814	184,133
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,121,282	△1,146,534
有形固定資産合計	577,417	728,544
無形固定資産		
のれん	246,700	234,195
商標権	186,559	184,688
ソフトウェア	166,900	164,383
ソフトウェア仮勘定	—	1,300
その他	22,817	22,037
無形固定資産合計	622,978	606,605
投資その他の資産		
投資有価証券	317,200	318,680
敷金及び保証金	372,164	371,092
繰延税金資産	219,816	231,465
その他	97,821	83,904
貸倒引当金	△36,706	△36,706
投資その他の資産合計	970,297	968,437
固定資産合計	2,170,693	2,303,588
繰延資産		
株式交付費	14,902	13,182
その他	3,536	3,367
繰延資産合計	18,438	16,550
資産合計	7,015,244	6,954,265

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,144,443	1,066,744
リース債務	19,849	20,067
未払金	260,608	298,494
未払法人税等	65,182	62,058
預り金	535,845	549,900
賞与引当金	110,498	44,601
役員賞与引当金	12,461	1,343
返品調整引当金	71,430	70,875
売上割戻引当金	870	1,097
その他	51,688	103,918
流動負債合計	2,272,878	2,219,101
固定負債		
リース債務	97,592	92,492
退職給付に係る負債	582,163	593,757
役員退職慰労引当金	113,486	117,975
その他	6,539	6,039
固定負債合計	799,782	810,265
負債合計	3,072,660	3,029,367
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,920,579	1,920,579
資本剰余金	977,579	977,579
利益剰余金	1,044,245	1,026,740
株主資本合計	3,942,403	3,924,898
非支配株主持分	180	—
純資産合計	3,942,583	3,924,898
負債純資産合計	7,015,244	6,954,265

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	2,615,042	3,107,832
売上原価	2,007,725	2,205,781
売上総利益	607,316	902,050
返品調整引当金戻入額	2,483	725
差引売上総利益	609,799	902,776
販売費及び一般管理費	619,033	756,375
営業利益又は営業損失(△)	△9,233	146,400
営業外収益		
受取利息	10	2
受取配当金	40	395
持分法による投資利益	—	1,480
受取賃貸料	435	435
業務受託手数料	1,934	2,051
諸預り金戻入益	818	1,390
助成金収入	—	1,500
雑収入	221	546
営業外収益合計	3,460	7,801
営業外費用		
支払利息	566	329
持分法による投資損失	410	—
株式交付費償却	573	1,719
為替差損	—	855
雑損失	31	46
営業外費用合計	1,580	2,950
経常利益又は経常損失(△)	△7,353	151,252
特別損失		
固定資産除却損	11	—
特別損失合計	11	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△7,365	151,252
法人税、住民税及び事業税	3,512	57,843
法人税等調整額	△681	△2,213
法人税等合計	2,830	55,629
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△10,196	95,622
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△180
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△10,196	95,802



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△10,196	95,622
四半期包括利益	△10,196	95,622
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△10,196	95,802
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△180

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メディア・ コンテンツ	映像制作	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,304,086	310,955	2,615,042	—	2,615,042
セグメント間の内部売上高 又は振替高	130	4,749	4,879	△4,879	—
計	2,304,216	315,704	2,619,921	△4,879	2,615,042
セグメント利益又は損失(△)	△6,360	13,154	6,793	△14,147	△7,353

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引等消去△14,147千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整をおこなっております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メディア・ コンテンツ	映像制作	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,895,140	212,691	3,107,832	—	3,107,832
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	13,062	13,062	△13,062	—
計	2,895,140	225,754	3,120,894	△13,062	3,107,832
セグメント利益	159,496	7,182	166,678	△15,426	151,252

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引等消去△15,426千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整をおこなっております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。